関戸橋工事説明会［上部工架設工事］議事要旨

１．日 時 令和６年１０月１８日（金）１９：００～19：50

２．場 所 府中市立住吉文化センター

３．議事要旨

１）工事内容について

・作業時間の説明において、特殊車両の搬入出とあったが、それはどのような車両か。

⇒ 大型トレーラーや大型クレーンである。

・特殊車両の許可時間の意味を説明して欲しい。

⇒ 特殊車両が公道を走行する際に、交通管理者に事前に許可申請を行っており、許可が下りた際に通行できる時間を制限される。その時間帯を指す。

・今回の工事は、２年間にわたる工事で、第一渇水期目の開始時に多摩川の瀬替えを行い、第一渇水期目終了時には瀬替えを復旧すると理解したが、その後の出水期間中に合成床版の作業を行うと工程表に記載があった。合成床版の架設にはクレーンを使用すると説明があったと思うので、第二渇水期でも瀬替えを行うのか否か確認させていただきたい。

⇒ 第一渇水期は、瀬替えをした状態で橋桁と合成床版の架設をクレーンを使用して行う。６月以降の出水期間中は堤防内での作業は行わず、橋面での準備作業のみ行う。来年 11 月以降の第二渇水期に瀬替えは行わないが、堤防付近の平地を利用して作業を行う。

・この地に長年住んでおり、その間多摩川は台風などの大雨による大きな増水が何度も発生したことを記憶している。そのような中で、昨年の工事にて設置したオレンジネットは出水期間も撤去することなく残置されており、流木などが引っかかるなどして水害発生の要因になると危惧している。今回の工事でもオレンジネットは通年残置するのか。

⇒第１渇水期終了後に一度撤去し、第二渇水期開始時に再度設置する。

工事完了時は、河川管理者の国土交通省京浜河川事務所と協議の上対応を検討する。

・工事事務所（現場詰所）はどこに設置するのか。

⇒主要な現場詰所は府中側の河川敷に設置する。また、多摩市側でも作業があるため、多摩市側の河川敷に少し規模を小さくした休憩所を設置する。

・橋桁の搬入時間は昼間となるのか。

⇒現時点では夜間、又は早朝を想定している。

・府中市側の桁架設工事の下流側では、同時期に国土交通省京浜河川事務所が河川工事を行う予定であり、工事用搬入路など両者が同時期に使用することになると思うので、トラブルが発生しないようにしっかり調整しておいて欲しい。

⇒昨年度も、東京都と国土交通省京浜河川事務所の工事搬入路が重なっていることから、調整をしている。今年度も工事搬入路の調整を始めており、搬入時期等を調整しながら、安全確保に努めていく。

２）その他

・令和８年度の工事終了時、現在の交差点の車道の流れを元に戻すための工事が必要になると思うが、その工事についての説明は別途あるのか。

⇒ 今回の工事が完了すると、現在通行している上流橋の交通の流れを今回施工する下流橋に切り替える工事を行う。その際、ご指摘の通り交通の流れが大きく変わるため、事前にご説明させていただく。

・河川内上流側に、昔は無かった雑木が増えているが、これも河川が増水した際に水害の要因になると危惧している。

⇒河川管理者の国土交通省京浜河川事務所にこのご意見を伝える。

※上記の掲載内容は、説明会での主な質問と回答の内容を要約したものです。